

## 事業部（文化事業）総括

### 文化事業／総括

平成 22 年度主催事業として、古典芸能 5、クラシック 9、音楽 5、演劇 4、映画 13、美術 4、アウトリーチ 6、その他事業 13、合計 59 事業を実施した。

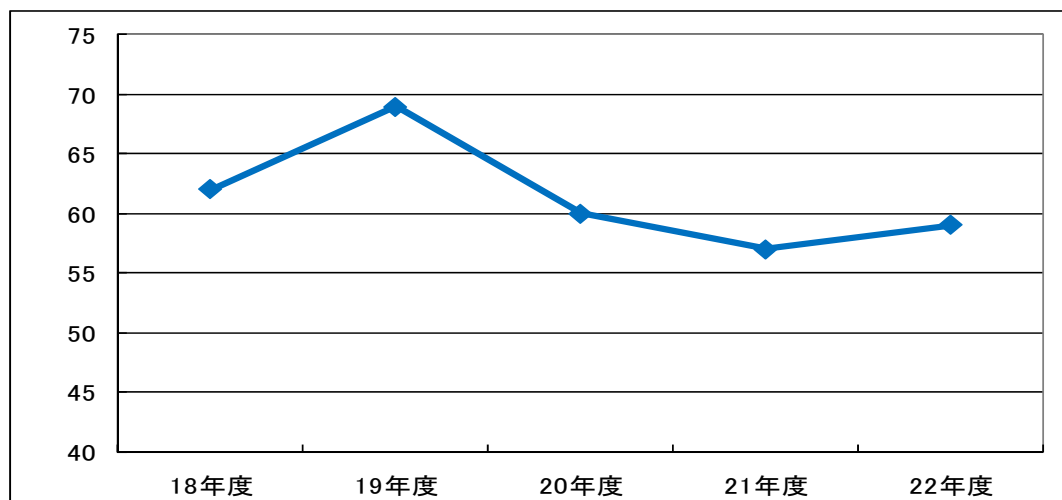
第一期指定管理者期間より参加型・育成（普及）型事業重視の方向性で事業を展開した結果、九州管楽合奏団の学校公演、クリニックにとどまらずアウトリーチやワークショップなど多様な形態で事業を行なえる様になった。また、宗像市文化行政関連の 4 事業と新たに設置した市民ギャラリーでの主催事業が加わったことで、事業への市民参加の機会が格段に増えた。そして、特筆すべきこととして、かねてより導入の要望が多かったスタインウェイ社製ピアノが市民の方より寄贈された。寄贈された方の期待を裏切らない様に、プロの演奏家のコンサートだけでなく、市民が世界で最も有名なピアノの代表格であるこのピアノを弾ける機会も積極的に提供していく。

入場者数は、53,798 人となり、前年比 140.5%、15,503 人の増となった。増加の要因は、文化行政関連 4 事業と市民ギャラリーでの主催事業の合計入場者が 14,191 人に達したことによるものである。

#### [ 事業本数・ジャンル別 ]

(単位：本)

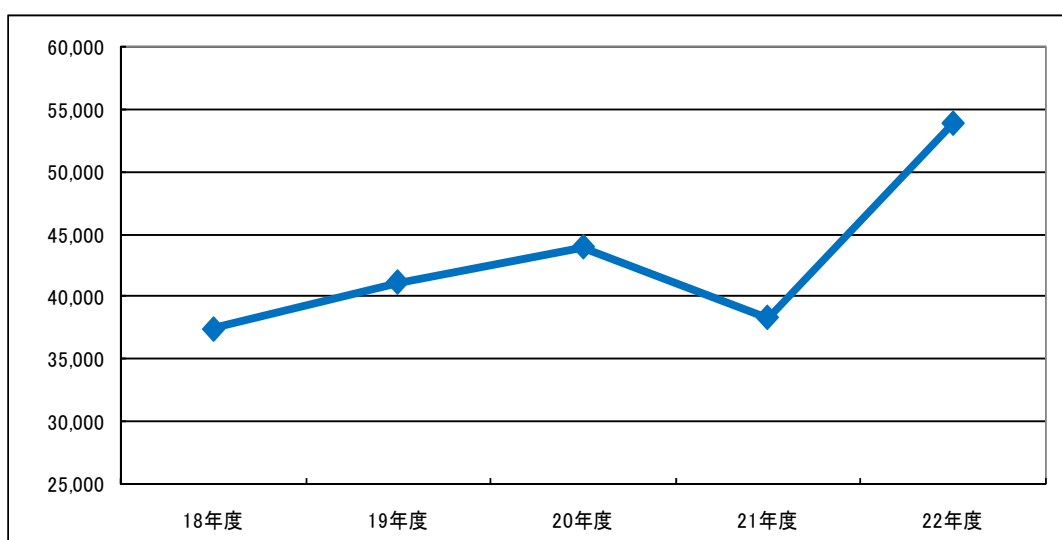
事業ジャンル	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度
音楽(クラシック)	9	7	7	8	9
音楽(クラシック以外)	6	9	8	4	5
映画	20	20	15	18	13
演劇・古典芸能	9	9	9	13	9
美術	1	2	3	3	4
アウトリーチ	6	5	3	6	6
その他	11	17	15	5	13
合計	62	69	60	57	59
対前年比	105.1%	111.3%	87.0%	95.0%	103.5%



[ 入場者数 ]

(単位：人)

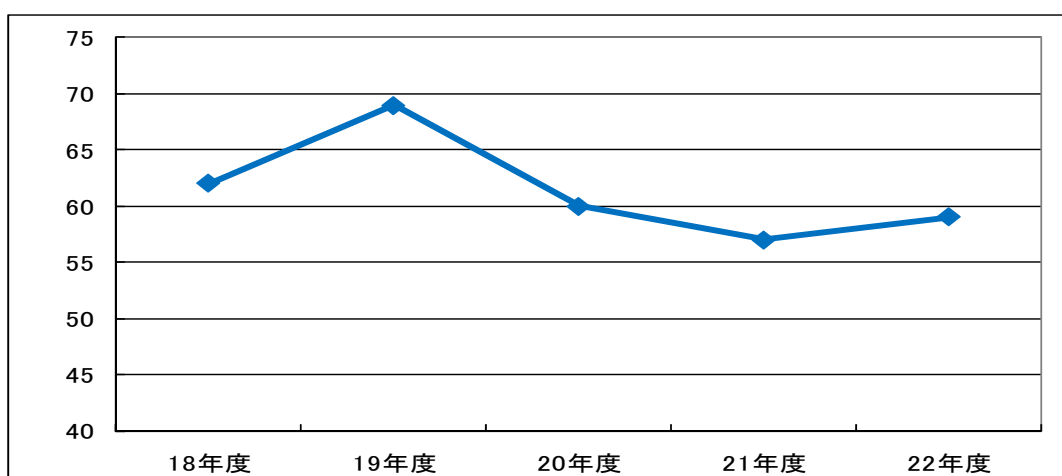
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
入場者数	37,439	41,070	43,917	38,295	53,798
対前年比	98.8%	109.7%	106.9%	87.2%	140.5%
対18年度比	—	109.7%	117.3%	102.3%	143.7%



[ 収支状況 ]

(単位：円)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
収入	54,513,429	58,970,004	64,926,712	52,163,911	48,751,007
支出	74,954,960	80,654,762	97,259,379	81,160,443	69,801,776
収支差額	△ 20,441,531	△ 21,684,758	△ 32,332,667	△ 28,996,532	△ 21,050,769
対前年比	89.9%	94.3%	67.1%	89.7%	72.6%



※収入：文化事業費収入—文化事業共通収入—チケット販売手数料収入

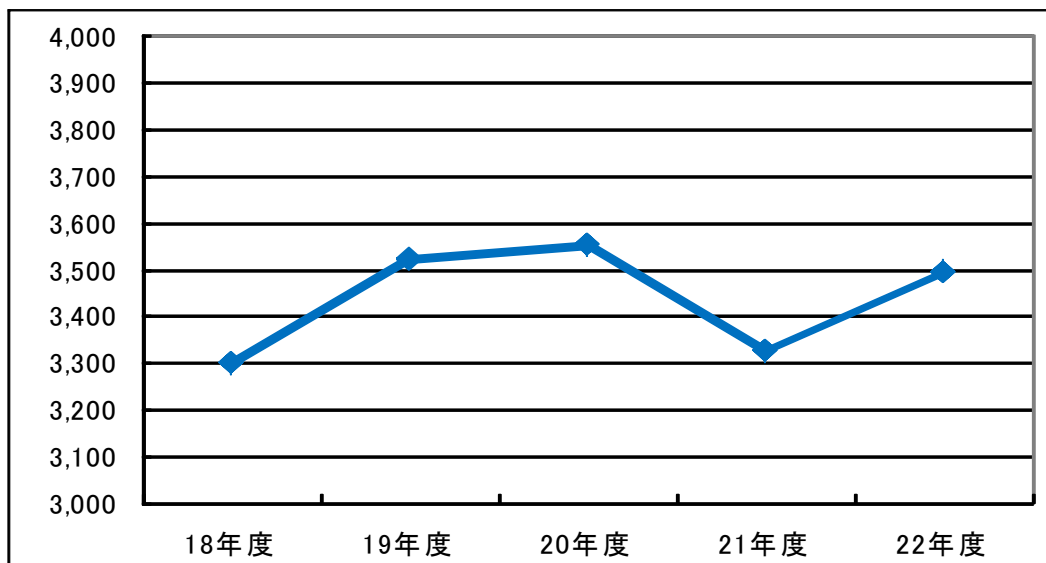
支出：文化事業費支出—給与手当支出—賃金支出（当日アルバイト除く）文化事業共通支出

[ ユリックス倶楽部（友の会）事業 ]

平成 22 年のユリックス倶楽部会員数は、3,494 人となった。目標の 3,500 人には届かなかったが、前年と比較し 168 人の増となった。

(単位：人)

	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度
会員数	3,300	3,521	3,553	3,327	3,494
対前年比	119.0%	106.7%	100.9%	93.6%	105.1%
対前年人数	528	221	32	▲227	168



[ ユリックス倶楽部入会特典について ]

●ユリックス倶楽部特典 □年会費 継続 1,500 円 新規 2,000 円

☆一般発売よりも 7 日早くチケット購入。

☆託児サービスが無料。(通常 1,000 円)

☆ユリックス主催のチケット割引。2,500 円 (500 円×5 枚) 分

☆倶楽部会員招待事業の無料チケット進呈。(※通常料金 2,500 円相当)

☆毎月、情報誌「ユリックス・サラダ」をお届け。(宗像・福津・宮若市以外)

☆アクアドーム、パットゴルフ、プラネタリウム、ゆ〜ゆ〜プールが割引料金で利用可。

☆貸出対象地区以外の方にも図書の出貸。

☆宗像文化サークルの入金 500 円引き。

## 主催事業・ジャンル別

### (1) クラシック事業

『小原孝コンサート』、『九州管楽合奏団定期演奏会』、『音楽の絵本』、『アンサンブルベルリン』、『九州交響楽団宗像公演』など9事業を実施した。『アンサンブルベルリン』はベルリンフィルの中でも比較的若手の奏者で構成されていたが、その音楽性の高さで451人のお客様を圧倒し、再演を望む声が非常に多かった。また『九州交響楽団宗像公演』も演奏会だけにとどまらず、事前に九州交響楽団事務局長とソリストによる2回の音楽講座を配置するなど、クラシック普及に向けた工夫が見られた。

11月にスタインウェイ社製ピアノが導入された為、急遽2本のお披露目コンサートを企画実施したところ、2本ともに完売となった。

アンサンブルベルリン



九州交響楽団 宗像公演



11月23日 中村紘子ピアノリサイタル 一般3,500円 入場者数 607人

1月10日 森麻季&横山幸雄ニューイヤーコンサート 一般4,500円 入場者数 599人

中村紘子ピアノリサイタル



森麻季&横山幸雄  
ニューイヤーコンサート



## (2) 音楽事業（クラシック以外）

『イ・ソジョンコンサート』、『九管ポップスファミリーコンサート』、『北村英治 with 宗像シンフォニックウインズ』など5事業を実施した。『九管ポップスファミリーコンサート』は、九管のパパ・ママ団員が企画の中心になり選曲・舞台構成を決定し、2回公演で1,045人の入場者となった。

### 九管ポップスファミリーコンサート 「アニメがいっぱい」



## (3) 九州管楽合奏団

定期演奏会 『九州管楽合奏団定期演奏会』、『九管ポップスファミリーコンサート』、『九管ポップスコンサート』の3事業を実施した。

学校公演 市内の中央中学校、河東小学校、市外では直方市の中泉中学校で実施した。プロの演奏にじっと聴き入った様子や、演奏にあわせた元気な歌声が印象的、感動的であった。

クリニック 10月30日、31日と3月26日の2回実施。受講者は275名。  
平成22年度は、九州管楽合奏団の定期演奏会、学校公演、クリニック、アウトリーチなど一連の活動に対して、文化庁の平成22年度優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業の助成を受けた。

### 学校公演（市立中央中学校）



### クリニック（奏法講習会）



#### (4) 映画事業

1月から3月の3ヵ月は『秀作映画特集』を実施した。封切りからかなりの期間が過ぎた作品でアカデミー受賞作品などを切り口として選定し、1日2作品を上映した。ユリックス倶楽部のクーポン券の消化（有効利用）を訴求した結果、3ヵ月間の利用枚数は、1,017枚となった。

	事業本数	入場者数	1本当り入場者数
平成21年度	18本	10,118人	562人
平成22年度	13本	7,440人	572人
前年差異	▲5本	▲2,678人	10人

##### ●映画事業入場者ベスト3

1位	『オーシャンズ』(8月23日)	1,168人
2位	『おとうと』(6月20日)	1,010人
3位	『花のあと』(7月17日)	746人

#### (5) 演劇・ミュージカル事業

『宝塚歌劇星組 宗像公演』、『劇団飛行船 ジャックと豆の木』、『ブルガリアカザンラック民族舞踊団』、『劇団四季ミュージカル嵐の中の子どもたち』の4本の事業を実施した。

『宝塚歌劇公演』は8年ぶりであった。2回公演を実施し入場者数3,005人であった。

#### (6) 古典芸能

『能公演バスツアー』、『筑前むなかた寄席 立川談春』、『筑紫楽所』、『うぐいす寄席』、『ゆりつくす日曜百円寄席』の5事業を実施した。

『筑紫楽所』は春日市に本拠地を置き、宮内庁楽部の楽師から直接指導を受けて九州内外で活動する雅楽演奏団体による雅楽の公演。ニューイヤーコンサートとして訴求したことと上演機会が少ないことがかえって有利に働き、503人の入場者数となる。

『ゆりつくす日曜百円寄席』は、4年目となるが安定した入場者数となる。22年度入場者数は1,449人（前年度1,446人）。

##### 筑紫楽所（ちくしがくそ）



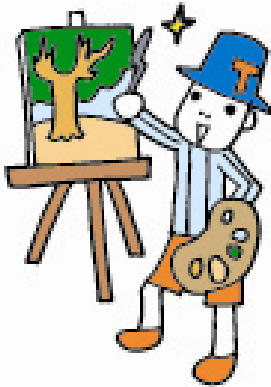
## (7) 美術事業

市民ギャラリーのオープンを記念して『中村研一展』(4/10～6/27)『中村琢二展』(7/3～7/25)を連続開催した。開催に当たっては小金井市立はげのもり美術館並びに近隣の収集家の協力を得て実施し、入場者数は3,805人となった。

『「大きなクスの木の下で」美術館展』(入場者数824人)は3年連続の開催となり、ボランティアスタッフが運営全般にわたり、大きな役割を果たしている。『県展宗像ブロック展』は1,059人の入場者数となった。

ギャラリートークの様子

『「大きなクスの木の下で」美術館展』



## (8) その他

『チルドレンズミュージアム』は4年連続の開催となり、入場者数2,604人と過去最高となる。宗像消防署、トヨタ自動車九州など多くの団体の協力を頂いた。

また、東京・渋谷にある「こどもの城」主催、「おりがみカーニバル全国児童館おりがみ作品巡回展」を開催した。「私たちの街」をテーマに全国の子どもたちが制作したおりがみ作品31点が、全国16カ所を巡った。福岡からは河東西小学校と吉武小学校の学童保育所の共同制作作品を出品した。

チルドレンズミュージアム



併催イベント NHKふれあい放送体験



## 後援事業

地域における文化の振興と文化団体の育成を目指し、後援事業を積極的に行っている。

音楽・・・3本 講演会・・・1本

## PR事業

### ■ユリックス・サラダ

情報誌『ユリックス・サラダ』の発行部数は、71,250部（宗像市広報 33,300部 福津市広報 21,400部 宮若市 12,400部 その他 4,150部）。

宗像地区への全戸配布のほか、宗像地区以外のユリックス倶楽部会員、マスコミ各社、JR九州鹿児島本線沿線駅、近隣文化施設などに送付した。『ユリックス・サラダ』は当館の情報発信の要であり、内容の精査と配布箇所の見直しを継続的に実施する。

### ■マスメディアの活用

主催事業の中で事業効率を上げるために必要と思われるイベントについては、TV局に名義共催を依頼し、スポットCMを流すなど販売促進につなげるようした。

また、新聞広告、情報専門誌などに各公演の発売前に「プレス資料」を作成し、掲載を依頼するなど、活字媒体を有効に利用し、積極的に情報発信を行った。

### ■ポスター・チラシなど

ユリックス催し物の内容や開催時期をお知らせするポスター・チラシは、プレイガイドや近隣の文化施設に適宜配布し、主催事業のPRをした。また、チラシの配布については、主催事業はもちろんのこと、ユリックスでの貸館公演の際にパンフレットに折込みを依頼した。さらに、近隣の文化会館で同じジャンルの公演が開催される際も、出向いて主催者に同様な折込み依頼をするなどしており、これらは活動で一定の成果を得た。

### ■ダイレクトメール

ユリックスの主催事業の際に回収したアンケート情報を、事業ごとにデータ管理し、同じジャンルの公演の発売前にダイレクトメールで顧客に郵送し、販売促進に努めた。

### ■ホームページ

ユリックス情報をホームページに掲載し、適宜更新した。各施設の案内から利用料金、主催事業や貸館でのイベント情報、当館までの交通アクセスなど、さまざまな情報が満載されている。また、お客様からの声を聞く場所として『みなさんの掲示板』を設けていたが、よりの確に皆さまからのご要望にお応えするために、23年3月からご意見・ご要望をお受けする「ご意見箱」に変更した。